

ラグビー部員

銭湯でガバガバ



\*パソコンでご覧頂く場合

Adobe Reader (リーダー) のメニューから、

1 『表示』∨『ページ表示』∨『見開きページ』を選びます。

2 『表示』∨『ページ表示』∨『見開きページ表示で表紙を表示』  
をチェックします。

Mac (マック) の場合は『見開きページモードで表紙をレイアウト』  
をチェックします。

\*スマートフォンでご覧頂く場合

アプリ『SideBooks』がお勧めです。

ラグビー部員 銭湯でガバガバ

6

ゴリアテボックス 作品のご紹介

79

幼い頃から来ている近所の銭湯だが、表の暖簾のれんをくぐらず裏の勝手口かってぐちから入るのは初めてだった。翔太しょうたは中に入ると細い廊下ろうかを右に曲がってすぐの扉とびらをノックして開けた。そこは隣となりにボイラー室がある狭い部屋せまなので熱が籠こもっていて、

ムワツと湿気しつけを含んだ生暖なまあたかい空気が身体を包つつんですり抜けていった。

「こんばんは」

「翔しょうちゃん。来てくれたの。ありがとね」

掃除道具そうじの整理をしていたこの銭湯の亭主ていしゅが笑顔で振り向いた。ジャージの裾すそを膝ひざまで捲まくり上げ、くたくたのTシャツで首に手拭てぬぐいをひっかけている。小太りで六十歳を過ぎてい

て頭の髪かみは少ない。

「部活は終わったの？」

「うん。いつもこれくらいの時間だから、ぜんぜん平気」

「晩飯ばんめしまだだろ。奥にあるから食いなよ」

「ありがとう。腹ぺこぺこ！ はは」

気兼ねきがまの無い関係は翔太が幼い頃から十数年続いている。

今日翔太は先週頼たのまれた風呂掃除の手伝いにやってきたの

だが、亭主はアルバイトとしてちゃんとお金を払うからと言ってくれた。

実は最近この銭湯も時代の流れに逆<sup>さか</sup>らえず、客も減って売上が急激に落ち込んでいた。しかし亭主は近代化を嫌<sup>きら</sup>い、それでも昔から続くこの伝統ある湯屋<sup>ゆや</sup>の活気をなんとか取り戻そうと思案<sup>しあん</sup>しているところである。

「ごめんね、こんなこと頼んじゃって」

「いえ、二時間三千円のバイト代ってすげえラッキース」

「掃除は毎日してるんだけどさ。湯船と洗い場が主で他は適当にやってきたからね。見ると結構あちこち汚れてるんだよ。今まで常連さんに甘えてたけど、新しいお客さんにも常連になつてもらわないといけないしさ」

亭主は腕組みしながら部屋の古い柱を眺めていた。

「自分、部活で散々部室や便所の掃除させられてきたんで慣



れてますから」

翔太は奥の小さな物置部屋のようなところにある作業台の前に座ると「いただきまーす」と言つて皿に盛<sup>も</sup>られた大きなにぎり飯を一つ掴<sup>つか</sup>んで頬張<sup>ほおば</sup>つた。目の前にはおかみさんが用意してくれたみそ汁、たくあん、それに鳥の唐揚げや肉野菜炒<sup>いた</sup>め、茄子<sup>なす</sup>の田楽<sup>でんかく</sup>などが並んでいる。

—— この銭湯に一人で来るようになったところから翔太は人と違<sup>ちが</sup>う自分に気づくようになった。友達が女の話で盛り上がっているのについて行けず、この銭湯に来ては大人の男を眺<sup>なが</sup>めて密かな喜びを感じていた。大きな筋肉をつけた兄貴や固<sup>かたぶと</sup>太りの親爺<sup>おやじ</sup>の男根に見とれ、亭主やおかみさんに知られないようドキドキしながらも目が離せないことも度<sup>たびたび</sup>々あつた。

家に風呂があつても部活の帰りに大湯<sup>おおゆ</sup>に浸<sup>つ</sup>かるのが趣味だ

と言つて通<sup>かよ</sup>つていることで、おかしな詮<sup>せん</sup>索<sup>さく</sup>はされず、かえつて亭主には昔からの良い常連客として可愛がられている。

翔太は食事を終わるとスポーツバッグから練習用のラグーシャツと短パンを取り出して着替え、揃<sup>そろ</sup>えて置いてある掃除道具を確認していた。

「服は汚<sup>よご</sup>れてもいいようにね」

部屋に戻<sup>もど</sup>つてきた亭主が顔を見せた。

挿 絵            7 枚（カラー）

本   編            7 8 項

全   項            1 5 8 項

---

---

## ラグビー部員 銭湯でガバガバ 猥想短編小説

---

著            者            <sup>とも</sup>友   <sup>の</sup>野   <sup>いさむ</sup>勇

サークル            ゴリアテボックス  
Goliath Box

当作品の文章、画像等の無断転載、また複製やネット共有へのアップロードなどを禁止します。

---

---

ゴリアテボックス

**友野 勇**

作品のご紹介

# 柔道部員 公衆便所で ベチヨベチヨ



猥想短編小説

朝の練習中、突然  
もよおして便所へ  
駆け込むガチムチ  
柔道部員の田島。  
しかしそこは清掃  
中！作業している  
おじさんに断られ  
たが我慢出来ずに  
……

# 柔道部員 公衆便所で ベチヨベチヨ

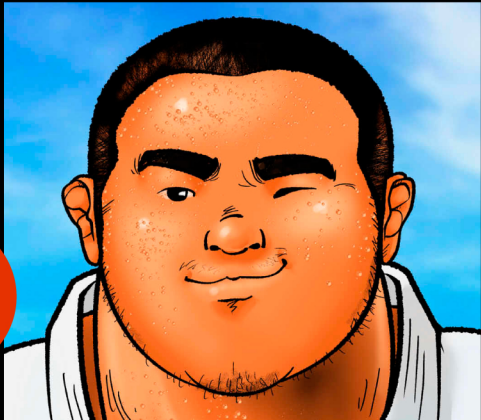


猥想短編小説

ゴリアテボックス  
友野勇の小説

エロ挿絵

6枚





# Short Time

## 猥想短編小説集

古いアパートのガチムチ男を覗き見する啓介、しかし……

（のぞく）

部屋探して訪れたへんな不動産屋。格安物件の秘密とは……

（変態不動産）

ネットで見つけた誰も知らないスポーツジム。変態すぎる男たち

（専門ジム）



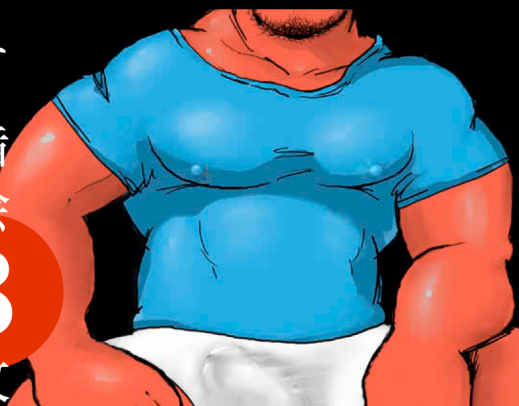
体験版



# Short Time 猥想短編小説集

ゴリアテボックス  
友野勇の小説

エロ挿絵  
8枚



体験版

# 乾 颯 太 郎



## 淫 行 記 1

先輩とスクラムを組む度に颯太郎の中にある秘めた感情がほとばしる。決して叶うことのない男同士の愛情を求めながらも、行きずりの切なく淫靡な世界に嵌っていく。

ゴリアテボックス

友野勇の小説

体験版

# 乾 颯 太 郎

じっくり  
読む本。

## 淫 行 記 2

ラグビーで鍛えたその身体が羞恥の快楽に溺れていく……。暗闇の淫猥な世界の果てに見た男同士の恋愛は本当に存在するのだろうか。颯太郎の淫行の旅が続く。読切りストーリー。

ゴリアテボックス  
友野勇の小説

体験版

# あさなぎ

鉄柵の向こうから覗く青い目が良二を深い淫猥な闇の中へと墮としていく。会社では尊敬される男も誰かに見られる羞恥がやがて快感となつて自ら脚を開き肉棒を欲するように……

ゴリアテボックス

友野勇の小説